

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	無		
スポーツ科学部	教授	楠本 繁生				
<b>I 教育活動</b>						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
学生による授業評価		平成25年～現在に至る	学生による授業評価 (授業に関するアンケート調査) の各項目の平均点が、4.5であり、学生から高い評価を得ている。			
ワークシートの活用		平成25年～現在に至る	ワークシートを作成し、毎時間学生にフィード・バックさせることにより、自らの課題を見つけることができている。			
2 作成した教科書、教材、参考書						
動画コンテンツの活用		平成25年～現在に至る	ハンドボールの学習内容の理解を深めるため、「動画コンテンツ」を作成し、講義内で活用している。			
ハンドボールの指導DVD		平成28年	楠本繁生の“状況判断を伴う”ハンドボール①～④を作成し、ジャパンタイム株式会社より発刊した。			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
ハンドボール指導者講習会の講師		平成25年～現在に至る	ハンドボール指導者を対象とした講習会の講師を務めた (日本体育協会、沖縄県、佐賀県、宮崎県、岡山県ハンドボール協会)			
4 その他教育活動上特記すべき事項						
大阪府運動部活動等推進委員会の議長		平成25年4月～現在に至る	大阪府の運動部活動指導の工夫・改善支援事業における取り組みについての委員会に参加し、運動部活動外部指導者の取り組みについて意見交換を行っている。			
大阪府立大塚高校・学校協議会の議長		平成23年4月～平成28年3月	学校協議会の議長を務め、学校の推進・地域の連携・中高の連携などについて検討した。			
大阪府立久米田高校・学校協議会の議長		平成28年4月～現在に至る	学校協議会の議長を務め、学校の推進・地域の連携・中高の連携などについて検討した。			
<b>II 研究活動</b>						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初 (始) 頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含まない。)						
題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月	
大学女子ハンドボール選手における踏切脚と非踏切脚による片脚リバウンドジャンプ遂行能力と両脚スクワット1RMおよびスクワットジャンプ最大パワー発揮能力との関係性の相違	下河内洋平、楠本繁生ほか	トレーニング指導	1巻1号	4～9	平成26年	
ハンドボールにおける卓越した指導者の指導力の熟達化に関する事例研究：高校・大学において全国大会で17回優勝している監督の語りを手がかりに	楠本繁生ほか	ハンドボールリサーチ	第4巻	11～19	平成27年	
ハンドボール指導者による選手の主観的プレー能力評価は選手の絶対的体幹固定能力およびスクワット最大挙上重量を反映する	楠本繁生ほか	ハンドボールリサーチ	第6巻	1～8	平成29年	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月
DVD	楠本繁生の“状況判断を伴う”ハンドボール	単 楠本繁生	楠本繁生の“状況判断を伴う”ハンドボール	1-4巻	DVD 4枚	平成28年
学会発表 (「国際学会」、「国内学会 (一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等)」、「研究会」等区分を記入)						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
国内 (一般演題)	平成25年8月	日本体育学会第64回大会	教育実習における教材研究と教師行動の力量形成についての一考察	立命館大学	小林博隆、楠本繁生他3名	
国内 (一般演題)	平成25年8月	日本体育学会第64回大会	学生による「出前授業」体験が授業力向上に及ぼす影響について	立命館大学	岡崎勝博、小林博隆、楠本繁生他2名	
国内 (一般演題)	平成26年8月	日本体育学会第65回大会	教育実習生が行う体育授業の特徴 教師行動に着目して	岩手大学	小林博隆、楠本繁生、加藤勇之助、岡崎勝博	
国内 (一般演題)	平成27年8月	日本体育学会第66回大会	ユーチューブを活用した体育授業用オープン教材 (OER) 開発の試み	国士館大学	小林博隆、楠本繁生、加藤勇之助	
国内 (一般演題)	平成28年8月	日本体育学会第67回大会	小学校教員が行う体育指導の現状に関する調査研究—体育指導を得意とする教員の特徴を探る—	大阪体育大学	小林博隆、圓岡裕己、加藤勇之助、楠本繁生	
国内 (一般演題)	平成29年8月	日本体育学会第68回大会	る調査研究 第2報 —体育指導を得意・不得意とする教員の特徴を探る—	静岡大学	小林博隆、菅沼徳夫、楠本繁生他2名	

国内(一般演題)	平成25年	第2回日本トレーニング指導者学会	両脚スクワットジャンプ中の最大パワー値と片脚リバウンドジャンプ遂行能力の関係性はトレーニング内容によって異なる		渡邊有実、中大路哲、楠本繁生ほか
国内(一般演題)	平成25年	第2回日本トレーニング指導者学会	大阪体育大学における女子球技選手の専門的体力の特徴		成相美紀、井川貴裕、楠本繁生ほか
国際	平成26年7月	Combined landing, core, and jump training modifies lower extremity energetics during single-leg landing in college handball players: Implications for anterior cruciate ligament injury prevention	National Athletic Trainers' Association 64th Annual Meeting and Clinical Symposia	Las Vegas, NV, US,	Shimokochi Y, Igawa T, et al.
国際	平成26年	9th International Conference of Strength Training	Effects of lower extremity neuromuscular training on sagittal plane lower extremity energetics and incidences of knee injuries in collegiate female handball players	Abano Terme, Padova, Veneto, Italy	Shimokochi Y, Igawa T, et al.
国内(一般演題)	平成26年	第3回日本トレーニング指導者学会	大学女子ハンドボール選手の5日間の完全休養における1RMの変化		渡邊有実、島典広ほか
国内(一般演題)	平成26年	第3回日本トレーニング指導者学会	大学女子ハンドボール選手における投球速度と体力要素の関係性		後藤真理子、楠本繁生ほか
国内(一般演題)	平成27年	第5回日本トレーニング指導者学会大会	自重および軽負荷による片脚スクワットの実施は両脚パラレルスクワット1RMを向上させるか?		下河内洋平ほか
国際	平成28年	10th International Conference on Strength Training	Functional ankle instability affects ankle power output during single-legged drop jump	kyoto	Nariaiほか
国際	平成28年	7th Asia Conference on Kinesiology	The relationship between jump height and squat 1-repetition maximum differs according to the presence or absence of stretch-shortening cycle motions	Korea	Komuraほか

科学研究費等の取得状況

科学研究費/その他の助成金/外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額(期間内の総額)

特許						
特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 →	公告・特許番号	国

### III 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
平成23年4月～現在に至る	日本体育学会 会員
平成23年4月～現在に至る	日本スポーツ教育学会
平成23年4月～現在に至る	日本ハンドボール学会 理事
平成23年4月～現在に至る	日本トレーニング指導者学会

社会的活動

平成27年4月～現在に至る	日本オリンピック委員会強化スタッフ(コーチングスタッフ) U-20, U-24日本代表監督
---------------	---

### IV 管理活動

期 間	内 容
委員会活動	
平成22年4月～現在に至る	教職課程委員会
平成22年4月～現在に至る	競技力向上委員会
特別プロジェクト活動	

### V クラブ活動の指導業績

1. 指導クラブ名	女子ハンドボール 部	2. 役職	2010～監督	3. 部員数	44 人
4. 現場指導の頻度	① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数:	2 回	延べ日数:	10 日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				

9. 年間の引率公式大会名	大会名	期間	場所
	全日本学生ハンドボール選手権大会		
	西日本学生ハンドボール選手権大会		

10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)

開催期間	大会名	成績	場所
平成25年～現在に至る	全日本学生ハンドボール選手権大会	優勝 (6年連続優勝)	大阪府

#### VI 賞罰 (職務に関する賞罰)

年月	受賞等機関名	内容	備考
平成27年	日本ハンドボール学会	日本ハンドボール学会賞	
平成27-30年	大阪体育大学	大島謙吉賞	4年連続
平成25-30年	全日本学生ハンドボール連盟	優秀監督賞	6年連続